



第2巻
第4号

平成24年4月26日

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県前橋市の群馬フラワーパーク

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地支援活動報告①②③
3. 現地・事務所感想文

災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

＜現地＞ 現在5月の協力員を募集しております。
連休も含め、ぜひご検討下さい。

＜事務所＞引き続き募集しております。
特に月・水が人手不足です。

皆様のご協力をお願いいたします。

現地・事務所職員募集！！

現担当者の任期満了にあたり、下記の職員を募集します。
災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。
または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 現地常駐者（短期契約職員） 2名</p> <ul style="list-style-type: none">・就業場所：宮城県石巻市大街道北・就業時間：9～17時・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給・社会保険加入・医療ソーシャルワーカー業務経験必須・4月より勤務開始希望 | <p>(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）1名</p> <ul style="list-style-type: none">・就業場所：協会事務局内・就業時間：週4日程度 10～17時・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始・時給 900円～ 通勤費は実費支給・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇・4月より勤務開始希望 |
|--|---|

***業務の都合等により残業や休日出勤となることがあります。**

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル
TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川・一原

次回災害対策本部会議について

5月12日(土)18:00～協会事務所 会議室にて本部のメンバーで今後の方針等を話し合います。
ご意見や検討事項がありましたら、5月8日(火)までに、災害対策本部事務所まで電話やメールでお寄せ下さい。

災害支援 SW 報告会について

次回は5月中を予定しております。
決まり次第、ご案内させていただきます。

全国大会のご案内

5月24日(木)～26日(土)に群馬で開催の全国大会では、以下、災害関連の企画を予定しています。ご期待下さい。

- ・5月25日(金) 15:00～18:00 シンポジウム
- ・5月26日(土) 9:00～12:30 分科会(現地支援活動と事務所支援活動について3演題)
- ・パネル展示 昨年度1年間の活動を報告予定です。
- ・書籍販売 9月30日までの活動記録を販売予定です。

<『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1(仮)』の出版について>

全国大会で皆様にお披露目できるように編集作業を進め、現在大詰めを迎えています。どうぞご期待下さい。

協力員名簿(9月30日まで現地・事務所で活動していただいた方全員)の掲載と、活動報告書(本文中で引用させていただいた方)の掲載について、ご理解ご協力をお願いいたします。

研修情報

5月27日(日)に災害ソーシャルワーク研修Iを開催します。
群馬県で行われる全国大会の翌日、同県内での開催ですので、奮ってご参加ください。
まだまだ申し込みを受け付けております。詳しくは協会ホームページをご覧ください。

Facebookでも情報をお伝えしています!



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。
応援よろしくお願いたします。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

現地支援活動報告①

渡邊 裕子（千葉県 成田赤十字病院）

期間：3月27日～3月31日

震災後約1年が経過しました。色々悩んだ結果、日本協会の行なう支援事業は継続しているのだから、すべきことはあるはず、と覚悟し3月の最終週、活動に参加しました。

仮設住宅で定期的開催されるお茶っ子の会では、地元の方々と語らうことができ、一緒に「上を向いて歩こう」や懐メロを歌わせていただきました。仮設居住者の生活支援合同会議では、住民を見守る体制がうまく公的な機関と連携しており、心強いものを感じました。市内で活動するボランティア団体の合同連絡会議では、被災者中心の支援というふれない各団体の思いをストレートに感じました。住宅避難者、在宅被災者のお宅へ電話や家庭訪問により生活の状況や困窮状態はどうかと、伺うなど大変貴重な経験をさせていただきました。そして海沿いの街へ…。堆く積まれた瓦礫の撤去が今最大の課題かとも思う一方で、SWは人の心の中の瓦礫を取り除く支援を継続していく意義を感じました。

現地支援活動報告②

笠藤 晋也（大阪府 済生会中津病院）

期間：4月13日～4月15日

4月13日～15日の3日間、石巻市での災害支援活動に初めて行ってきました。

私は、13日に大阪府済生会吹田病院と泉尾病院のMSW1名ずつの計3名で現地に入り、茶話会のサポートや市街地と山間部の仮設住宅を周り「医療ソーシャルワーカーをご存知ですか？」というタイトルのポスターを掲示板に貼り、チラシをポストへ投函してきました。茶話会のサポートでは次第に津波の話になり、支援に来ている社協臨時職員さんからもご自身の壮絶な被災体験が語られました。まさにサポートしている社協職員さんも同じ被災者なんだということを実感しました。同時にまだまだ専門家の傾聴が必要な時期だとも感じました。15日には石巻駅前の朝市を訪問したり、港方面の門脇町付近のテントで現地の特産物（わかめ、海苔、しょうゆ、味噌など）をいくつか購入し、石巻やきそば食べながら、生活復興はまだまだこれからなんだと思いました。それでも販売員さんの素敵なお笑い誘われて、特産品をたくさん購入し元気をいただき楽しむことができました。また活動の合間には被災地を巡り、津波の爪あとを実際に肌で感じてきました。石巻市の港地区、北上川上流にある大川小学校、雄勝湾周辺、女川町など壊滅的な状況に言葉もでませんでした。しかし実際に被災地の土を踏み、自分の目で見たことで、被災者に思いをめぐらせる心のアンテナが、少し深く広くなったような気がします。遊楽館支援からこれまでの活動に至るまで、支援を繋げてこられた全国のMSWの方々に敬意を感じつつ、これからも生活復興にむけてMSWの生活支援・相談はまだまだ必要なんだと強く思いました。

現地支援活動報告③

川口 真理子（大阪府 済生会吹田病院）

期間：4月13日～4月15日

私の活動内容は、仮設住宅集会所での茶話会参加、仮設住宅掲示板へのポスター掲示及び各戸へのチラシポスティング、復興支援イベントへの参加、在宅避難者へのフォロー電話です。茶話会では、隣に座った男性と当初一問一答状態だったのですが、お話ししているうちに共通の話題が見つかりひとしきり盛り上がりました。ぽつんと座っておられたので、ちょっとほっとしました。

継続的にMSWが現地で活動していることが評価され、受け入れられているなど感じる場面がたくさんあり、心強く思うと同時に、地震発生直後から現在に至るまで、日本協会が支援のあり方を検討しソーシャルアクションをおこしてきた結果だと感じ入りました。

地震発生から1年が経過しましたが、これからどのように個々の生活や地域の再建を図っていくか、課題は多いと思います。土地勘がなくもどかしい思いもしましたが、もう一度行けばもう少し何かできるかも…と機会があれば今後も活動に参加したいと思っています。

現地感想文

4月17日（火）

こんなに暖かいのに、日和山のさくらも蕾のままですが、北上町の山中のせせらぎのそばに、蔭の臺、ぜんまいが柔らかい緑を伸ばしています。北上川の両脇に広がる芦原は、野焼きが進められています。春はすぐそこまで、でしょうか？

4月18日（水）

暖かい一日、面白い企画で仮設が盛り上がったようです。少しずつ人々が外へ動き出してくる季節かも…。新たな対応が必要かもしれません。

連休は、どんな過ごし方をされるのか、聞き始めようかと思います。怖い質問ですが…。

4月19日（木）

この頃は被災地域に行くと、私が石巻入りした頃にはなかった悪臭がします。暖かくなってきたせいでしょうか。桜もまもなくです。



事務所感想文

4月17日（火）

一原（自宅）

今日は現地協力員と事務所パート職員の新規問合せをいただきました。引き続き関心を寄せてくださっている皆様に感謝です。

4月19日（木）

一原（自宅）

活動記録の編集作業が進行中です。協力員の皆さんの名簿や活動報告書の掲載についてメール等で確認させていただいております。ご協力よろしくお願ひします。

4月20日（金）

一原（自宅）

今日は1日通して2名体制でした。その他、現地に行かれた方が事務所に顔を見せに来て下さるなど、にぎやかな1日でした。皆さん、気軽に事務所に来て下さいね。